

## 第6回熱測定講習会「初心者のための熱分析」報告

本学会が熱測定の知識の普及を目的として開催する熱測定講習会も本年で第6回を迎え、昨年と同じく「初心者のための熱分析」をテーマとして、7月10日、11日の両日、大阪で開催された(本誌, 8, No. 2, 会告(1981)参照)。前回の東京における講習会が好評で、第4回までの参加者数をはるかに上まわり、関西での開催が強く望まれていた。本学会では東京地区以外での講習会開催については十分必要性を認めながらも、参加見込数、経費、会場確保などの点で懸念していたが、講習会準備委員会、さらに幹事会で慎重に検討した結果、実施に踏み切った。

講師としては本学会編集委員長の上出健二博士をはじめできるだけ地元の専門家をお願いするようにしたが、講義内容、期日の変更、予定者の転勤などがあって、長崎、金沢、津、土浦、東京からもお願いした。従来の講

習会ではとかく一方通行になり勝ちであったが、昨年同様、“熱分析相談コーナーと装置の実演”にも十分な時間をとり、講師と直接接して質疑応答したり、最新の熱分析装置を作動状態で展示してメーカー技術者とゆくり話し合う機会をもてるように配慮した。

参加者数は105名の多きに達し、前回に匹敵するものであったが、工場関係者が圧倒的に多く、多数の業種にわたっていた。参加者は関西が多いのは当然であろうが、遥か盛岡から九州にも及び、梅雨明け間近かの蒸し暑い日であったが、冷房設備も整った会場の大阪府商工会館で、充実した2日間の研鑽が行なわれた。

終りに臨み、講師、機器メーカー各位をはじめ、多大のご協力を賜った阪大・崎山 稔博士、阪工大・影本 彰弘教授に感謝の意を表するものである。

(庶務幹事 斎藤安俊)

---

## 「Bulletin of Chemical Thermodynamics」より

IUPACのI, 2(熱力学)委員会の監修のもとで刊行されて来ている上記Bulletinについては、本会は「BTT情報収集作業グループ(主査:高橋洋一)」が国内の研究進行状況アブストラクトの取りまとめを行なう、という形で協力して来たが、No. 24(1981)の編集から従来corresponding editorをつとめて来た高橋に替って、菅宏教授(阪大理)にcorresponding editorとしてお世話いただくことになった。

これまでいろいろな形で御協力いただいた会員の方々に、この機会に厚く御礼申し上げるとともに、菅教授のもとでの今後の一層の御発展を願う次第である。

また、これと並行して、日本国内における上記Bulletinの配布のお世話を高橋のところで行なっていたが、

Bulletinの発行形態が固まり、正規の洋書定期刊行物として書店での購入が容易になったこともあり、今後この取り扱いを全面的に中止することとしたので御了承いただきたい。この機会にバックナンバーの残部を(それぞれ数部ずつのみであるが)下記の特別価格でお頒けするので、御希望の方は至急高橋まで御連絡いただきたい。

Vol. 18 (1975)~Vol. 21 (1978)	各冊 ¥ 2,000
Vol. 22 (1979)	¥ 3,000
Vol. 9~Vol. 22 の通し	一揃 ¥ 30,000

BTT情報収集グループ主査  
高橋 洋一  
(東大工 Tel. 03-812-2111  
内線 7422)